

2025年3月28日

日本プラネタリウム協議会

「全国プラネタリウム大会 2025・大阪」の開催について（予告）

早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本プラネタリウム協議会では、2025年度の全国プラネタリウム大会を下記のとおり開催いたします。申込み方法などの詳細は、4月中旬にご案内する大会要項でお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

なお今大会でもオンライン配信を実施しますが、現地参加を前提とした運営といたします。また配信は従来よりも簡素化いたしますので、ご承知おきください。オンライン配信やアーカイブ配信の視聴のみを目的に参加登録されることは差し支えありませんが、配信トラブルに対する補償は致しかねますのでご了承ください。また、発表の仕様を一部変更いたします。発表を予定される方は、十分にご確認ください。

記

1. 主 催 日本プラネタリウム協議会
2. 共 催 大阪市立科学館
3. 内 容 総会、研究発表・実践報告、記念講演、および各種出展等
4. 期 日 2025年6月16日(月)～18日(水) (3日間)
5. 会 場 大阪市立科学館 (1日目)
〒530-0005 大阪市北区中之島四丁目 2-1
<https://www.sci-museum.jp/>
大阪中之島美術館 (2,3日目)
〒530-0005 大阪市北区中之島四丁目 3-1
<https://nakka-art.jp/>
6. 参加費 会員 5,000円(税込) 非会員 8,000円(税込)
※事前払
※領収書は電子発行になります。
※当会は適格請求書(インボイス)発行事業者登録団体ではありません。

7. 宿泊・昼食 宿泊施設の斡旋、昼食弁当の取りまとめはありません。本大会は、大阪・関西万博の期間中となります。ホテルは早めに確保されることをお勧めします。大阪は公共交通網が発達しており頻繁運転しています。大阪市内中心部以外の、交通アクセスのよい近隣地域も視野に入れてお探してください。

8. 講演、特別セッション

(1) 記念講演「星は廻り人は廻り合う — 山本一清と大正・昭和期の天文群像 —」

講師：天体望遠鏡博物館学術顧問／元京都大学宇宙物理学教室 富田 良雄

天文同好会（現東亜天文学会）が結成された1920年前後に活躍した天文愛好家を中心に、日本初のプラネタリウムや公開天文台の設置に関わり、日本のアマチュア天文学黎明期を支えた山本一清についてお話しします。

(2) 国際プラネタリウム協会2026年大会（IPS 2026） ※福岡市にて開催

1996年以来30年ぶりの国内開催となる「国際プラネタリウム協会2026年大会（IPS 2026）」が来年6月に福岡市で開催されます。世界中のプラネタリウム関係者が集まり、最先端のプラネタリウムの情報に触れることができるイベントで、関連イベントを含めると会期は10日間にも及びます。国際プラネタリウム協会プレジデントのDr. Shannon Schmol1（シャノン・シュモール）様と国内組織委員会から、本大会についてご紹介いただきます。

9. 情報交換会

※大会2日目に実施します。

・会場：コンgresクエア大阪中之島

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-51

<https://osaka-cs.jp/nakanoshima/>

・参加費：6,500円（税込）〈予定〉

※事前払

※領収書は電子発行になります。

※当会は適格請求書（インボイス）発行事業者登録団体ではありません。

10. 発表

(1) 研究発表・実践報告（口頭発表またはポスター発表）

・発表者は当会会員（正会員優先）に限ります。大会参加者に対する直接的なプロモーション（運営事業者等のPRを含む）を含む内容の発表はできません。

・口頭発表は1会員あたり1件まで、発表時間は10分以内とします。

・口頭発表では、パワーポイント等によるPC映像を使用することができます。

・口頭発表でドーム映像を使用する場合、映像尺は最大8分（1本のみ連続再生に限る）です。

・口頭発表は、コンテンツのみでの参加はできません。発表者本人による口頭発表が必要です。

・ポスター発表は、現地参加なく行うことができます。

(2) ベンダー発表

・発表者は当会の賛助会員および正会員（賛助会員優先）に限ります。大会参加者に対するプロ

モーションを目的とした発表が可能です。

- ・1 会員あたり 1 件まで、発表時間は 10 分以内とします。
- ・パワーポイント等による PC 映像を使用することができます。
- ・ドーム映像の映像尺は最大 8 分（1 本のみ連続再生に限る）です。
- ・コンテンツのみの参加はできません。発表者本人による口頭説明が必要です。
- ・ベンダー発表料が必要です。

(3) 発表プレゼンテーション用映像仕様

- ・プレゼンテーション用映像は、すべて Zoom 経由での映写となります。会場備え付けの PC を利用するか、持ち込み PC を Zoom に接続して（発表者用 Wi-Fi 提供あり）ご使用ください。映像のレスポンスや色味などは Zoom 経由の品質になりますので、ご了承ください。

(4) ドーム映像仕様

- ・映像尺：8 分以内
- ・形式：Amateras Dome Player 付属の Amateras Encoder により、「Amateras 形式 高品質」のプロファイルを用いてエンコードした mp4 ファイル
※Amateras Dome Player <https://www.orihalcon.co.jp/amateras/domeplayer/>
- ・音声：映像ファイルと同尺の、2ch もしくは 6ch の WAV ファイル。6ch のチャンネルレイアウトは、L、R、C、LFE、Ls、Rs の順。
- ・納品方法：原則として各種オンラインストレージサービスでお送りください。
- ・送付締切：2025 年 6 月 11 日（水）必着
※6/12～16 の間ダウンロードできるようにしてください。

※Amateras Dome Player で再生できることをご確認の上、お送りください。

※音声は映像ファイルに含めず、映像と音声は別ファイルで用意してください。

1.1. ブース出展

- ・当会の賛助会員および正会員（賛助会員優先）に限ります。大会参加者に対するプロモーションを目的とした出展が可能です。
- ・ブース出展料が必要です。

1 2. 特記事項

(1) 大阪中之島美術館の利用にあたっては、従来の大会会場とは異なる様々な規定があります。規定に反する行為があった場合、大阪市立科学館にも多大なるご迷惑をお掛けすることになりますので、確実にお守りいただきますようお願いいたします。

- ・服装

美術館に相応しくない服装では入館できません。正装、スーツまでは求めませんが、清潔感のある品位を保った格好でお越しください。

- ・糖分を含む飲料や、食べ物の摂取不可

バックヤードや楽屋等を含め、無糖の飲料に限り、指定場所でお飲みいただけます。食べ物は一切不可です。

- ・アート、美術的要素を持つ物品の出展不可

特にブース出展などで、アートや美術的な要素を持つ物品を、展示等することはできません。最終的には美術館の判断となります。事前確認の機会を設けますので、あらためてご案内いたします。当日指摘を受けた場合は、その場で展示等を中止していただく場合があります。出展料等は返金致しません。

- ・館外からの台車持ち込み時の対応

車輪を拭く、もしくは館内用台車に載せ替えるなどの対応が必要です。

(2) 会場は、1日目は大阪市立科学館、2, 3日目は隣接する大阪中之島美術館になります。これに伴い、プラネタリウムドームを利用した発表は、1日目のみとなります。

(3) 総会及び情報交換会は、2日目になります。

(4) 参加、出展、発表等の申込みは、今後ご案内する所定の期日で締め切ります。

(5) ベンダー発表、ブース出展の出展料は、現在検討中です。4月中旬に公開する大会要項でご案内します。

(6) 各種発表、出展に多数の申込みがあった場合は、発表時間や件数等を調整させていただくことがあります。

(7) ブース出展の仕様は、4月中旬に公開する大会要項でご案内します。

(8) 内容は変更となる場合があります。

1 3. お問い合わせ

日本プラネタリウム協議会 大会担当

E-Mail : conference2025@planetarium.jp

※お問い合わせは、上記電子メールのみにて承ります。

※本大会は、日本プラネタリウム協議会が主催します。内容に関する会場館への問合せはご遠慮ください。